

医薬品情報専門薬剤師



仕事とは

医薬品は単なる物質ではなく、情報が伴って初めて有効に活用できる。薬剤師は、医療現場で情報を集め、評価、加工して、医師や看護師らに提供する役割を担っている。このほか、製薬会社、情報の評価や安全性情報の発信を行う行政、次世代の人材を育てる大学など、様々な組織に所属する薬剤師の役割も重要だ。こうした背景から日本医薬品情報学会は2010年、「医薬品情報専門薬剤師」の認定制度を立ち上げた。対象を病院や薬局の薬剤師のほか、製薬会社や行政機関、医薬品卸、各地の薬剤師会、大学などに所属する薬剤師にも広げたのは、これまでの専門薬剤師制度で初めてのことだ。

適正使用担う“司令塔”

11年7月に過渡的認定として、29人の医薬品情報専門薬剤師が誕生した。今後、過渡的認定者を中心に、今年中に認定試験の概要を固める。その上で12年4月以降の早い時期に、第1回目の認定試験を実施する計画だ。必要な要件を満たした上で認定試験に合格すれば、医薬品情報専門薬剤師として認定される。

この制度の特徴の1つは、医療現場の薬剤

師に加えて、各方面に幅広く門戸を開いていることだ。

師に加えて、各方面に幅広く門戸を開いていることだ。

医薬品情報の構築や評価、活用には、様々な立場の薬剤師が関わっている。医薬品の適正使用を実現するため、その基盤となる医薬品情報に関する業務や教育を、病院や薬局の薬剤師だけでなく、製薬会社や医薬品卸、行政機関、大学などの薬剤師にも高い専門性を持って担ってほしいとの考えが背景にある。

また、現代は、エビデンスを根拠に個々の患者に合った薬物療法を考える時代だが、その一方、インターネットの発達によって情報が氾濫する時代にもなっている。雑多な情報の中から、質の良い情報を選び出すため、高度な知識や技能が求められるようになったことも、この認定制度構築に至った背景だ。

報が出た場合には、院内全体でどういう対策が必要なのか考えて実行に移すなど、適正使用の司令塔のような働きが期待されている。

一方、薬局においては、各地の薬剤師会の薬事情報センターや、チェーン薬局の学術部門で働く薬剤師の認定取得を見込んでいる。行政機関では、医薬品の安全性情報を取り扱い、医薬品の安全対策を立案するような立場の薬剤師を想定している。

製薬会社や医薬品卸では、学術情報部の責任者として、インタビューフォーム作成やMRへの研修を行う時に中核となる薬剤師に取得してもらいたい考えだ。

製薬会社には、臨床試験や市販後調査の結果をもとに情報提供するという重要な役割がある。さらに、その情報が医療機関で有効に活用されるよう分かりやすく加工し、提供す

幅広い領域への普及を目指す

それでは、それぞれの組織において、どのような部門の担当者に、医薬品情報専門薬剤師の資格を取得してもらいたいのだろうか。

病院では、医薬品情報室に常勤する薬剤師に、この資格を取ってほしい考えだ。個々の患者に合った薬物療法が実施されるよう必要な情報を提供するの、病棟担当薬剤師の基本的な役割。それとは別に、病院全体の医薬品情報に関する業務を主導できる人材として、その専門性を認定するのが狙いだ。

そこで、具体的な役割として、病院の組織全体を俯瞰し、必要な情報が必要な場面で活用できるように体制を整える。ある薬について緊急安全性情

る必要もある。こうした場面で専門薬剤師が力を発揮すれば、医薬品の適正使用が、より充実したものになるだろう。

薬系大学においては、学生に医薬品情報を教える教員の資格取得を見込んでいる。薬学教育モデル・コアカリキュラムの中で、「医薬品情報」は必須項目になった。病院や製薬会社、行政機関など各方面に進む人材を養成する大学で、医薬品情報業務の基本的な知識とスキルを、専門薬剤師の資格を持った教員が教えることは、とても重要なことだ。

重要な業務経験、実績

学会発表や論文も要件

医薬品情報専門薬剤師の資質として日本医薬品情報学会は具体的に、次の7項目を定めている。

- ①医薬品情報源の特性を理解し、その検索・調査ができ、その指導ができること
- ②医薬品情報を根拠に基づいて評価し、目的に合わせて加工し、提供ができること
- ③医薬品情報を活用するために必要なコミュニケーション、プレゼンテーション、ライティング能力を有すること
- ④適切な医薬品情報に基づき、医薬品開発、医薬品適正使用のための最適な判断(有効性と安全性を確保するための対策など)ができること
- ⑤医薬品情報に関連する教育、研究ができること
- ⑥医薬品情報に関連する医療制度、関連法規、専門用語について十分に理解していること
- ⑦医療倫理及び情報倫理(プロモーションコード、知的財産権の遵守など)を有していること

これらの項目は、医療現場だけでなく、どの立場においても医薬品情報を取り扱う薬剤師に共通して求められる資質だ。医薬品情報の収集、評価、加工、提供という業務の全てが、この7項目の中に入っている。

医薬品専門薬剤師の資格を得るには、試験の合格のほか、日本医薬品情報学会の会員であり、同学会指定の生涯教育セミナーに参加し60単位以上を取得する必要がある。また、医薬品情報に関わる通算5年以上の業務経験も必要で、各職域における医薬品情報に関わる教育や業務実績が求められる。さらに、医薬品情報領域に関する2回以上の学会発表(少なくとも1回は発表者)と1編以上の学術論文(少なくとも1編は筆頭著者)という要件も満たす必要がある。

地域の皆様の健康を願い、一粒一粒に元気を込めて...

幅広い年代、様々な疾患を持った患者様が来られます。その一人一人のニーズを見極め、患者様の立場にたった対応をこころがけています。また、薬学生実務実習を毎年受け入れています。

地域医療(在宅訪問)

自宅で療養されている患者様へ在宅訪問を行なっています。在宅ならではの工夫や服薬指導を実施して、地域医療に貢献しています。



宝塚のまちのかかりつけ薬局 たんぽぽ薬局の理念

窓口対応

窓口では一人一人にあった服薬指導を徹底。患者様が安心して服用できるように薬歴を管理し、調剤に活用しています。



健康相談

処方箋をお持ちでない患者様にも、一般薬やサプリメント、病気食などの相談を受けています。禁煙指導にも力を入れています。



2011年度募集内容

- 雇用形態: 正社員
- 勤務地: たんぽぽ薬局仁川店・たんぽぽ薬局武庫川店(宝塚市内)
- 給与: 新卒4年生 223,000円, 6年生 237,000円
- 薬剤師手当: 20,000円/月, その他住宅手当, 家族手当, 残業手当あり
- 昇給・賞与: 昇給年1回, 賞与年3回
- 休日: 日曜・祝日・隔週土曜・年末年始・夏季休暇(年間休日113日)
- 福利厚生: 退職金制度・育児介護休暇制度・各種社会保険・共済制度あり
- 特記事項: 奨学金制度・研修制度あり, 店舗見学随時可能

くわしくは下記のホームページにアクセスしてください。



有限会社ヘルシーメイト(たんぽぽ薬局 仁川店・たんぽぽ薬局 武庫川店)

本社所在地: 〒665-0054 兵庫県宝塚市鹿塩1丁目20-1 TEL:0798-57-5384 FAX:07978-57-5385

HP:http://www.tanpopo-pharmacy.com/ E-Mail: poponigawa@maia.eonet.ne.jp